にこにこ通信

第百一号　平成十五年八月二十日

〒九三一〇八〇四　高岡市問屋町四十
有限会社　沖商店発
（にこにこ）
TEL　〇七六六一二五一二五五
FAX　〇七六六一二五五〇〇
E-mail　okashoten@poem.ocn.ne.jp

いつもお世話になりありがとうございます。
『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょうか』そんな人生の根本問題を皆様と一緒に考えたいと思い、皆様の心に一石を投じて、意見を頂く機会になることを願って本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚の無いご意見をお寄せくださいます様お願い申し上げます。

一　菩薩様がお帰りになられました

六月二十三日、私の尊敬する竹平政太郎様が亡くなられました。

竹平政太郎様については、本『にこにこ通信』をご愛読の皆様方にはよくご存知のことと思いますが、戦後の経済混乱時期に、給料まで遅配・欠配していた経営不振の北陸軽金属工業㈱を立て直すべく、専務取締役として実際の経営にあたり（当時、高岡市の御三家と言われていた中のひとつ・木津家は木津太郎平の息子・木津誠一を社長として立てて）、年二割の配当をするまでに育てあげられました。

ところが、北陸軽金属工業㈱を乗っ取ろうとした当時の日本軽金属工業㈱の幹部の後ろ楯を得た、部下の常務取締役（本人はもう故人ですし個人攻撃になりますので、ここでは発表しません＝ご希望の方にはお知らせします）の謀略により、裏切り・騙まし討ちそのもので、株主総会において突然解任されました。

竹平政太郎様は、己の信念を貫くべく、その直後（一年を待たず）、新会社を設立されました。社名は、ご存知の通り、「三協アルミニウム工業㈱」です。三者（地元・従業員・得意先）の協力なくしては、会社の存在価値がないとの意味で名づけられました。

昭和三十五年、本人の御年五十一歳でした。

その後の三協アルミニウム工業㈱の成長振りは、皆様ご存知の通りです。打つ手打つ手がすべて当たり、あれよあれよと言う間に、東京証券取引場、一部上場の一流企業に育て上げられました。

それまでの先見の明はもちろん、人材の育て方は、私には、まさに神業と思われました。

正力松太郎様や松下幸之助様も多分こんな感じだったのではないかと思います。

こんな人たちに共通した点は、

◎その一、私欲がない。＝欲がないのではなく、自分個人に対する欲がないということであって、より大勢の人々の為に、大いに能力を発揮される。＝努力する目的が一般の人々と違うように思います。

◎その二、仕事を通じて人々を教育する。＝コツや技術など、その仕事自体に関することもさることながら、仕事をするときの心構え、人としての精神のあり方、モラルとでもいったようなこと。＝人間性・人格の向上。

その結果、いろんな諭語が残されていますが、ここにも共通するのは、目に見えない力を信じ、宗教の帰するところと違わないことです。決して自慢することなく「ここまで来れたのは目に見えない力のおかげ」と言うような言い方をされ、ある人は神を、ある人は仏を信じ、その教えに帰依されています。

このような方々は、古今東西、おりおりに出現されていますが、私はこの方々を「菩薩」と思っています。

ここで「菩薩」について（沖昌弘の私流）の解説。

以後は現実（今、自分の目の前に見えること）しか信じられない人には、ひとつのおとぎ話か夢物語、あるいはＳＦ空想物語と思って読んでください。

仏教では、ひとつの生命は不滅と考えます。

生命はひとつのエネルギーであり、現世に生まれて具象化され、死んで物体（肉体）を離れて物体のない第ものになり（霊とか魂と表現されている）、生（この世に生まれる）と死（あの世へ帰る）を繰り返しながらら己の向上を目指しているとされています。

それは、紙の上に砂鉄を置いて下から磁石を近づけりになられました。

二　除草・草刈りに学ぶ

一昨年、縁あって農地を購入し、菜園に精を出してたようなものです。（生命のこの世への誕生）

磁石の磁気の強さによって砂鉄は集められ、磁気の力が大きければ大きいほどその分、砂鉄は多く集まり、いま磁気の画く通りの模様を表します。

今年は、例年になく雨が多く、雑草がはびこり、草雑草同士が地面を譲り合って共生しているように、おれて来る毎に、己の磁気を強く・大きくするためだと考えて頂ければ理解し易いと思います。（自己を変えるすことができるのはこの世だけで、あの世は想念の世界元を切って行くわけですが、今まで私は少しでも範囲を大きく移動して、一回に多くの面積を刈るのが良いと思っていました。ところがこのやり方では、50センチ以上、ひどい所では身の丈ほどに伸びた草は、すぐ修羅界、人界、天界、声聞界、縁覚界、菩薩界、仏界回転刃の軸に絡み付き、刃の回転を止めてしまいます。です。これを十界と言い、以後、簡単に（くわしくはまた後の機会に）説明します。

地獄界＝あらゆる苦しみの世界。

餓鬼界＝足ることを知らない、足ることを知ることの出来ない世界。

畜生界＝理性がなく本能のままに行動する世界。

修羅界＝戦いあるのみの世界。

人　界＝色々考えさせられる、色々考えることが出来る世界。

天　界＝人界で考えられる欲を凡て満たした世界。

声聞界＝天界を超え、仏の声が聞ける世界。

縁覚界＝仏の教えの一部を理解し、覚りを得た世界。

菩薩界＝仏の教えの一部を理解し、得た覚りを、より多くの生命に、身をもって教え広げることを己の向上のための修業としている世界。（その修業は、仏の教えを凡て理解し仏になるための修業で、それはそれは厳しく、人間には想像できないとされている）

仏　界＝尽深微妙、仏と仏のみが理解でき、菩薩にもその境涯は理解できないとされている最終的理想の世界。

そして、私は、正力松太郎様や松下幸之助様そしてせん。回転式の刃のついた草刈機も使用し難く、刃を六月二十三日、私の尊敬する竹平政太郎様が亡くなられました。

ひとりの菩薩様がその使命（修業）を終えて、お帰りになられました。

二　除草・草刈りに学ぶ

一昨年、縁あって農地を購入し、菜園に精を出してくぐ抜けてくる者、葉が取れ易くて根を残そうとする者など色々な特徴の違う種類があり、それらはあたかも磁気の画く通りの模様を表します。

しかし、磁石を遠ざければ砂鉄は模様をくずし、元との格闘となりした。それで、その草刈り・草むしりに生まれて竹平政太郎様を菩薩界から来られた人と思っている次第です。

今年は、例年になく雨が多く、雑草がはびこり、草のバラバラな、只の砂鉄に戻るのです。（生命のあの世への帰還）

生命が生と死を繰り返しながら己の向上を目指して違います。畔の草は回転式の刃のついた草刈機で、田の草は耕運機で耕して、畑の草は手作業で除草します。

回転式の刃のついた草刈機で草を刈る際、刃を地面生命力と自然の仕組みにはほとほと感心します。

除草と言っても、除草する場所によってその仕方が

昔から雑草のようにたくましくと言いますが、その

除草剤と言う手もありますが、収穫が終った後、畑全体を耕運機で起しますので、その際、成分が残ってそして、その生命の状態を十段階に表現しました。

有限会社　沖商店　代表取締役　沖昌弘
個人メール　E-mail　Oki2525@siren.ocn.ne.jp
（にこにこ通信へのご意見をはじめ個人的なご連絡はこちらへください）